

社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 21 年度第 5 回 議事録 (案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 22 年 1 月 7 日 (木) 14:00 ~ 17:00					場所	地盤工学会 会議室	
部長	高橋 邦夫		理事	江藤 芳武		幹事	仙頭 紀明	
部員	伊貝 聡司		部員	長田 昌彦	×	部員	川崎 了	×
部員	岸田 潔		部員	関野 武志	×	部員	豊田 浩史	×
部員	西岡 英俊	×	部員	平井 貴雄		部員	利藤 房男	
ワザバ-	寺本 邦一	×						

: H20 年度新任 : 出席予定 : 出席 (電子会議) : 代理出席 × : 欠席予定 : 未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-21.5.0	平成 21 年度 第 4 回基準部会議事録案
資料-21.5.1	平成 22 年度予算 第 3 次案
資料-21.5.2	平成 22 年度事業方針・活動 (案)
資料-21.5.3	土木学会からの依頼文書「ISO 対応特別委員会」における貴学協会での ISO 規格の審議状況等に関する情報提供ならびにご報告の件 (お願い)
資料-21.5.4	新設委員会 (WG?) 「地盤工学用語の JIS 規格作成準備委員会」設立趣意書 (案)
資料-21.5.5	「JIS A 1221 スウェーデン式サウンディング試験方法」の改正素案および改正提案箇所抽出表 Ver.2
資料-21.5.6	改正案「杭の水平載荷試験方法」および同解説案
資料-21.5.7	日本工業標準調査会からの依頼文書「JIS に関する業務計画提出」に関する依頼書
資料-21.5.8	土木学会発行「土質試験のてびき」に関するデータシート転載依頼書
資料-21.5.9	理事会報告資料 [11/27 開催議事録案]
資料-21.5.10	ISO 国内委員会報告資料 [12/4 開催議事録案]
資料-21.5.11	地盤工学表記法委員会報告資料 [12/3 開催議事録案]
資料-21.5.12	ISO/TC 190 調整会議および ISO/TC 190/SC 3 連絡会議出張計画書
資料-21.5.13	平成 22 年度事業計画「まえぶん」の作成依頼文書
資料-21.5.14	
資料-21.5.15	
資料-21.5.16	
別添資料 - 1	
別添資料 - 2	

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料-21.5.0)
原案通り承認された。
2. 全体関係 (資料-21.5.1)
 - (1) 平成 22 年度の予算案 (資料-21.5.2)
第 3 次予算が示された。第 2 次案からの変更点は、一般会計の基準検討作成費支出を減額した
ことである。
 - (2) 平成 22 年度活動計画案 (資料-21.5.13)
メール確認 (3) 平成 22 年度事業計画「まえぶん」の作成 (資料-21.5.13)
22 年度活動計画案をもとに「まえぶん」(案)を作成する。後日メールで各委員会に送付し確
認を行う。

3. 委員等の異動

理事会報告 (1) 委員の交代

- ・上原 久典 メンバー →久保 裕一 氏(中部土質試験協同組合)
理由：表記法委員会への参加・活動が困難なため
委員の交代を承認した。

(2) 交代

4. ISO 国内委員会 関係

(1) 土木学会「ISO 対応特別委員会」活動参画のお願い (資料-21.5.3)

- ・既に ISO 国内委員会は、ISO 対応特別委員会に幹事長と幹事を派遣している。
- ・ISO 国内委員会には、担当理事がメンバーであったが、いつの間にか来られなくなった。
- ・ISO 活動の把握という点、基準部長または担当理事での対応を提案する。予算を多く執行している
ので、十分活動を理解していただいたうえで、上記特別委員会の対応をしていただくのがベタ
ーである。
- ・国土交通省からの予算は、土木学会に一本化されており、地盤工学会の活動は、一部、土木学会
から派遣となっている。

土木学会 ISO 対応特別委員会(2/12 開催)には岸田委員が出席し、地盤工学会の活動を報告
する。委員は戸塚事務局長より下記にある ISO 国内委員会の新委員長に交代する。

ISO 国内委員会の活動方針等について以下のような議論があった。

- ・ISO 国内委員会の委員長は交代するものとする。ISO 国内委員会で新委員長について調整・
人選する。(基準部会として本城委員を推薦する。)
- ・ISO 国内委員会で今後も担っていく主な役割として以下の 3 点を確認した。
規格・基準委員会と連携して国際会議や投票に関する情報を共有する。
海外派遣による情報収集
日本が主導権を持つ分野では議長国を務める等プレゼンスを示す。
- ・ISO 対応活動は調査法・試験法・設計法と広範囲である。また活動予算と人的資源も限られ
ていることから、学会が主体的に取り組むべき案件かを精査・仕分けする必要がある。上記を踏
まえて、新委員長のもとで ISO 国内委員会の今後の運営・活動を引き続き議論する。
・海外派遣等の支出が有効に働いていることを理事会で説明できる資料があればよいとの意見
があった。

理事会報告 (2) 海外派遣

ASTM D35 および ISO/TC221 に関する会議

期 間：2010 年 1 月 25 日～1 月 31 日(7 日間)

訪問国：アメリカ合衆国・サンアントニオ

派遣者：宮田委員、榊尾委員

理 由：ASTM D35 と ISO/TC221 は、ジオシンセティックスの試験法に関する国際規格の整備
にあたって、互いの機関で整備してきた試験法を最大限に尊重しあう覚書を正式に交わ
している。ジオシンセティックスの試験法整備において、近年は ISO より ASTM が活

発で、この分野におけるわが国の国際戦略を立案するためには ASTM の情報が必要である。

費用：「平成 20 年度重点 TC 等国際会議派遣委託事業 (TC182,190,221)」としての旅費支援の内諾を得ている。

ISO/TC 190 調整会議および ISO/TC 190/SC 3 連絡会議出席 (資料-21.5.12)

期間：2010 年 1 月 10 日～1 月 14 日 (5 日間)

訪問国：オランダ・デルフト，ドイツ・ベルリン

派遣者：坂井委員 (ISO/TC 190/SC 3/WG 10 運営 WG グループリーダー)

理由：添付資料の通り

費用：経済産業省

上記 2 件の海外派遣を承認した。

5. 地盤工学表記法委員会 関係

理事会報告 (1) 「地盤工学表記法委員会 地盤工学用語の JIS 規格作成準備 WG」設立趣意書 (案) (資料-21.5.4)

上記準備 WG の設立趣意書を承認した。

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

特になし。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

(1) JIS 改正素案 (継続審議) (資料-21.5.5)

JIS A 1221 スウェーデン式サウンディング試験方法

規格案を承認した。ただし、用語の定義の表記 (静的貫入抵抗の記号 W_{sw} , N_a , N_{sw} を用語とするか) については委員会で再度確認する。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

理事会審議 (1) 新規制定基準案 (資料-21.5.6)

杭の水平載荷試験方法

公示後の基準案に対する意見に対する回答および修正した基準を承認した。

9. 販売促進 WG

特になし。

10. 基準部所管刊行物

特になし。

11. その他

JISC へ提出 (1) JIS に関する業務計画の提出 (資料-21.5.7)

地盤調査関連の 6 規格 (JIS A 1214, 1215, 1219, 1220, 1221, 1222) が改正予定であること、および公示までのスケジュール予定を報告する。また 1219 (標準貫入試験), 1220 (オランダ式 2 重管コーン貫入試験) は対応 ISO があることを明記する。

理事会報告 (2) 土木学会発行「土質試験のてびき」増刷におけるデータシート転載に伴う著作権料

(資料-21.5.8)

データシートの転載を許可するものとする。

報告事項

1. 理事会 (11 月 27 日), 運営連絡会議 (12 月 25 日) 開催報告 (資料-21.5.9)

基準部関連項目について報告があった。

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

平成 21 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	×				
・三菱総合研究所(回答作成)	60万円			2/26	
・三菱総合研究所(重点TC旅費)	160万円				
・経済産業省		350万円		3/16	
小計	220万円	350万円	: 上限, 予算は 620 万円		
合計	570万円				

H21 第 3 回委員会(12月4日開催)報告

(資料-21.5.10)

Eurocode7 への対応について

(2) 地盤工学表記法委員会

H21 第 3 回委員会(12月3日開催)報告

(資料-21.5.11)

検索機能の進化から標準キーワードがほとんど利用されていない実態を踏まえて、今後のあり方について議論を行っている旨の報告があった。

(3) 室内試験規格・基準委員会

(4) 地盤調査規格・基準委員会

(5) 地盤設計・施工基準委員会

(6) 販売促進 WG

4. 日本工業標準調査会 土木部会

部会メンバーの資格が変わることから、4月以降部会のメンバーが変更になる可能性があることが報告された。

H21 年度 基準部関係委員会開催状況

委 員 会 名		委員会開催日，太字は次回開催日
基準部会	北詰 昌樹	4/17，6/15，9/10，11/10， 1/7
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	木幡 行宏 (代行：木幡) 平田 健正 三木 博史	6/12，9/29，12/4， 3/12 6/12，9/29，12/4， 3/12 12/24 4/23，5/22，8/4，9/18，10/23， 2/8
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性（土と岩） ・WG2 化学特性（H17 化学試験） ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性（土と岩） ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG8 特殊土 ・WG9 ベンダーエレメント試験基準化検討 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG11 赤本改訂版の総説執筆に関する WG	後藤 聡 古河 幸雄 川地 武 大島 昭彦 龍岡 文夫 北詰 昌樹 木幡 行宏 三浦 清一 山下 聡 安川 郁夫 後藤 聡	4/2 幹事会，4/16，7/24， 1/25 7/3 幹事会，7/21 幹事会，9/4 幹事会 9/11（関西），10/27（関西）
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 原位置載荷 ・WG6 現場密度 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析(透気試験) ・WG9 傾斜計による岩盤内変位測定方法基準化 ・WG10 初期地圧の測定方法基準化 ・WG11 スウェーデン式サウンディング試験方法改正 ・WG12 貫入式地盤硬度計基準化	三村 衛 松島 潤 木村 英雄 井尻 裕二 田中 洋行 谷 和夫 小早川博亮 浅井 健一 宮口 新治 亀村 勝美 石田 毅 藤井 衛 北村 良介	5/13，8/3，11/5， 1/29 4/10，6/5，7/27，8/31，9/18，10/16， 11/9， 1/18 8/31 7/7 4/10，5/7 7/10，12/4， 1/25 6/29
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	4/15，7/8，8/7，9/9 6/10，9/8，10/9 幹事会，12/8 4/1 幹事会，4/16 幹事会，5/27 幹事会， 6/4 幹事会，6/26，11/9，12/21， 1/22 幹事会，2/15
地盤工学表記法 ・WG1 用語および用語の定義 ・WG2 データシートおよび情報化	岸田 隆夫 岸田 隆夫 (鈴木明夫)	4/9，6/3，7/22，9/18， 2/1

5. その他

- 1) 理事会(平成22年 1月22日(金)開催予定)への審議事項・報告事項
運営連絡会議は2月26日(金)開催
- 2) 総務部会(平成22年 2月12日(金)開催予定)への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日

- ・ 21年度第6回: 平成22年3月8日(月)14:00時~
(対応理事会 H22.3.19)
- ・ 22年度第1回: 平成22年 月 日()14:00時~
(対応理事会 H22.4.23 or 5.14)
- ・ 22年度第2回: 平成22年 月 日()14:00時~
(対応理事会 H22.7. or H22.9.)

平成21年度 理事会・運営連絡会議 開催日程(予定含む)
理事会 運営連絡会議

4月24日(金)	
5月15日(金)	
5月28日(木) 総会/理事会	6月26日(金)
7月24日(金)	
9月28日(月)	
	10月23日(金)
11月27日(金)	
	12月25日(金)
H20年1月22日(金)	
	2月26日(金)
3月19日(金)	

4月23日(金)
5月14日(金)
5月27日(木) 総会/理事会